

所得税・町民税

申告はお早めに

平成21年分所得税、平成22年度町民税の申告受け付けは2月16日(火)から3月15日(月)までです。

申告に必要な書類をそろえ、期限内に申告できるように準備しましょう。

国税務課 ☎ 62-18505

◆町民税の申告について

平成22年1月1日現在で、能登町に住民登録をしている20歳以上の人に申告書が配布されます。申告は国民健康保険税と介護保険料、長寿(後期高齢)医療保険料などの申告も兼ねています。

申告をしなかった場合、軽減措置が受けられない場合がありますので昨年収入がなかった人も必ず申告しましょう。
※申告期間中は大変混雑し、お待ちいただくことがありますので時間に余裕を持ってお越しください。

✓ 申告に必要なもの

- 申告会場へ行く前に忘れ物がないかチェックしましょう!
- 印かん(認め印)
 - 配布された町民税申告書(税務署から確定申告書が送付された人はその申告書も)
 - 平成21年中の収入の分かる書類(給与・報酬・賞金・年金のある人は源泉徴収票。なくした人は再発行してもらいましょう)
 - 生命保険料・地震保険料控除などを受ける人は控除証明書
 - 国民年金保険料などを申告する人は納付額の証明書または領収書
 - 障害者控除を受ける人は障害者手帳・療養手帳など確認できるもの
 - 医療費控除を受ける人は医療費の領収書、補てんされる金額の明細書
 - 住宅借入金等特別控除を受ける人はその必要書類
 - 所得税の還付を受ける人は本人名義の金融機関名、口座番号がわかるもの



●申告受付スケジュール

- 【全地区】能都庁舎2階ロビー
2月16日～3月15日(9:00～16:00)
- 【小木地区】小木支所
2月16日～2月26日(9:00～16:00)
- 【柳田地区】情報センター1階会議室
3月1日～3月15日(9:00～16:00)
- 【内浦地区】内浦庁舎3階第1会議室
3月1日～3月15日(9:00～16:00)

月	日	曜	内容
2	16	火	【高倉地区】高倉出張所 9:30～16:00
	17	水	【神野地区】神野公民館 9:30～16:00
	18	木	【瑞穂地区】瑞穂公民館 9:30～16:00
	19	金	【白丸地区】白丸公民館 9:30～16:00
	20	土	
3	22	月	【鶴川地区】鶴川支所 9:30～16:00
	23	火	※輪島税務署相談(能都庁舎) 9:30～16:00
	24	水	※輪島税務署相談(能都庁舎) 9:30～16:00
	25	木	【不動寺地区】不動寺公民館 9:30～16:00
	26	金	
3	27	土	
	28	日	
	1	月	
	2	火	
	3	水	
	4	木	
	5	金	
	6	土	休日受付(能都庁舎) 9:00～16:00
	7	日	休日受付(能都庁舎) 9:00～16:00
	8	月	
	9	火	
	10	水	
	11	木	
	12	金	
	13	土	
14	日	休日受付(能都庁舎) 9:00～16:00	
15	月		

※輪島税務署による確定申告相談会

パソコンを利用した「確定申告相談会」を2月23日(火)、24日(水)能都庁舎4階ホールで開催します。この機会にe-Taxを体験して、e-Taxの便利さを実感してください。申告相談会は、北陸税理士会輪島支部の協力で各パソコンに1人操作補助者が付きますので、パソコン操作に不慣れな人でも心配ありません。(相談会で使用するパソコンでは、電子証明書付住基カードがない人もe-Taxによる申告が可能ですのでお気軽にお越しください)

「e-Tax」を利用するにもおすすめ!

「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータは、e-Tax(電子申告)を利用して提出できます。「e-Tax」を利用して申告すると

①最高5,000円税額控除

所得税額から最高5,000円の控除を受けることができます。(平

成19年分または20年分の確定申告でこの控除を受けた人は、受けられません)

②添付書類の提出省略

医療費の領収書や源泉徴収票等の提出または提示を省略することができます。(確定申告期限から3年間、書類の提出または提示を求められることがあります)

③還付金がスピーディー

e-Taxで申告された還付申告は、早期処理しています。(3週間程度に短縮)

e-Taxの利用に際しては、電子証明書の取得(手数料が必要)、ICカードリーダーの購入などの事前準備が必要です。

国税庁ホームページ www.nta.go.jp

輪島税務署 ☎ 0768-22-2241

消防出初式

平成22年能登町消防団出初式は、1月9日に能都体育館で行われ、団員305人が安心安全な町への決意を新たにしました。式典後は榎木埠頭で一斉放水を行い、集まった観客に火消しの心意気を披露しました。

◆消防長官表彰

- 退職消防団員報償
- 山本 勉(元消防団団長)
 - 瀧平 武(元消防団副団長)
 - 山岸信夫(元白丸分団長)
 - 前田長政(元山田分団長)
 - 善野栄造(元三波分団長)
 - 奥成壯三郎(元小木分団長)
 - 田中正悦(元小木副分団長)
 - 酒井俊基(元鶴川・部長)
 - 井谷 昇(元小木・部長)
 - 田端秀雄(元不動寺・部長)
 - 川端正雄(元高倉・班長)
 - 波瀬公雄(元小木・団員)

◆石川県知事表彰

- 功労章
- 菅原圭一(松波分団長)
 - 山下文宏(消防司令補)
 - 永年勤続功労章
 - 船本 隆(小木・副分団長)
 - 杉本知夫(小木・部長)

◆能登町長表彰

- 永年勤続功労章
- 山田久就(三波・班長)
 - 玉西剛士(高倉・団員)
 - 宮前博人(上町・団員)

- 高出充彦(鶴川・班長)
- 中山幸永(柳田・班長)
- 山岸浩嘉(柳田・班長)
- 中川 隆(小間生・班長)
- 魚棚勇人(松波・班長)
- 金七祐太郎(松波・班長)
- 中下英幸(不動寺・班長)
- 下田 豊(神野・団員)
- 池崎高裕(柳田・団員)
- 谷内一郎(柳田・団員)
- 赤坂孝介(消防士長)
- 河端宏明(消防士長)
- 西谷内英章(消防士長)
- 有手栄作(消防士長)

退職消防団員報償

- 小田浩太郎(元宇出津1・団員)
- 中前正俊(元宇出津2・団員)
- 古ヶ谷内幸久(元宇出津2・団員)

優良団員表彰

- 木村尚司(宇出津2・班長)
- 桜井聡志(高倉・団員)

- 山本智広(鶴川・団員)
- 山下正明(鶴川・団員)
- 田谷博幸(神野・団員)
- 鳥越正春(上町・団員)
- 太田豊和(小木・団員)
- 高田弘太郎(宇出津1・団員)
- 鍛冶俊輔(柳田・団員)
- 丹羽 稔(小間生・団員)

- 井上博友(松波・団員)
- 藪下要介(松波・団員)
- 布久保利之(不動寺・団員)
- 首田幸一(岩井戸・団員)
- 退職団員感謝状
- 奥成壯三郎(元小木分団長)
- 田中正悦(元小木副分団長)
- 酒井俊基(元鶴川・部長)
- 井谷 昇(元小木・部長)
- 消防団雇用事業所感謝状
- 信田宗彦

◆消防団長表彰

- 精勤章
- 坂口 明(白丸・団員)
 - 小倉正寿(神野・団員)
 - 柳瀬裕之(上町・団員)
 - 波田鉄也(柳田・団員)
 - 福池 功(柳田・団員)
 - 中谷真一(小間生・団員)
 - 川原信一郎(小間生・団員)
 - 埴 浩司(松波・団員)
 - 東 武司(不動寺・団員)
 - 角三博明(不動寺・団員)
 - 上平裕太(不動寺・団員)



8. 給与水準（ラスパイレス指数※）

区分	20年度	21年度
能登町	89.5	89.9
県内町	87.8	88.3
全国町村	94.2	94.6

※国を100としたもの

9. 部門別職員数の状況（4月1日現在）

区分		職員数		前年比
		20年度	21年度	
一般行政	議会	4	4	0
	総務	83	83	0
	税務	18	17	△1
	労働	2	2	0
	農林水産	25	20	△5
	商工	11	9	△2
	土木	16	15	△1
	民生	79	75	△4
	衛生	33	31	△2
	小計	271	256	△15
特別行政	教育	37	38	1
公営企業等会計	病院	152	142	△10
	水道	12	12	0
	下水道	8	8	0
	その他	23	20	△3
小計	195	182	△13	
合計		503	476	△27

10. 定員適正化計画

①適正な定員管理

徹底したスクラップ・アンド・ビルドにより、総数の増加を極力抑制するなかで、政策の変化や業務量の変化に応じた職員の適正配置に努めています。

②採用・退職の状況

区分	18年度(人)	19年度(人)	20年度(人)	21年度(人)
前年度退職者等	12	27	41	29
新規採用等	5	11	0	6
医療職	6	5	9	8
年度当初職員数	570	547	503	476
前年比	△7	△23	△44	△27

6. 職員手当の状況

6-①期末・勤勉手当（21年度）

区分	能登町	国
支給率		
期末手当	2.75月分	2.75月分
勤勉手当	1.40月分	1.40月分
計	4.15月分	4.15月分
加算措置	職制上の段階、職務の級などによる	

6-②退職手当

区分	自己都合	勤奨定年
支給率		
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度	59.28月分	59.28月分
平均支給額	18,388千円	
加算措置	定年前早期退職の場合2～20%加算	

6-③扶養・住居・通勤手当 国の基準と同じ

6-④時間外勤務手当（普通会計）

20年度	支給総額	6,251千円
	職員1人当たり支給年額	24千円

6-⑤特殊勤務手当（20年度・普通会計）

区分	全職種
職員全体に占める手当支給職員の割合	30.1%
支給対象職員1人当たり平均支給年額	57,156円
手当の種類（手当数）	7種類

7. 特別職の報酬等の状況（21年度）

区分	月額	期末手当
給料	町長	790,000円 (820,000円)
	副町長	570,000円 (590,000円)
報酬	議長	6月期 1.45月
	副議長	12月期 1.55月
	議員	計 3.00月 (0.1月分減額)

(注) 町長および副町長の給料月額は12月より減額しており
() 内は減額措置を行う前の金額

町 職員の給与は、人事院勧告に基づいて行われる国家公務員の給与に準じて条例案が作られ、町議会の議決を経て支給されています。

行政の透明性を確保し、町民の皆さんに一層のご理解をいただくため、職員に支給している給与等のあらましをお知らせします。

町職員の
給与等の
あらまし

1. 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (20年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率 B/A	19年度の 人件費率
20年度	21,760人	13,656,415千円	183,195千円	2,317,777千円	17.0%	17.3%

2. 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費（職員手当には退職手当を含まない）				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
20年度	307人	1,134,011千円	84,603千円	376,673千円	1,595,287千円	5,196千円

3. 職員の初任給の状況（21年4月1日現在）

区分		初任給月額		
		能登町	石川県	国
一般行政職	大学卒	172,200円	172,200円	172,200円
	高校卒	140,100円	140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒	137,200円	—	—

4. 職員の平均給料月額および平均給与月額の状況（21年4月1日現在）

区分	能登町			国		
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	44.7歳	319,655円	344,289円	41.5歳	325,521円	391,770円
技能労務職	51.4歳	259,306円	279,665円	49.2歳	285,548円	322,737円

5. 一般行政職の級別職員数の状況（21年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級
職名	主事技師	主事技師	主幹係長主査	課長補佐主幹	課長課参事	課長
職員数	16人	28人	92人	48人	13人	20人
構成比	7.4%	12.9%	42.4%	22.1%	6.0%	9.2%

(注) 能登町職員の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数

交通安全祈願祭 交通死亡事故「ゼロ」を目指して

1月13日、宇出津の酒垂神社に能登交通安全協会、能登安全運転管理者協議会などの関係団体が集まり、今年一年の交通安全を祈願しました。

神事を終えた交通安全協会の新平悠紀夫会長は「昨年の交通死亡事故がゼロ件であったことは、関係機関や地域が一丸となって取り組んだ成果の現れです。今年は500日を一つの目標として、安心安全な町づくりに寄与していきたいと思ひます」とあいさつ。今年も交通死亡事故ゼロを目指して、関係者らは決意を新たにしていました。



一年間の交通安全を祈る参列者



「扇めでたい末繁盛、家も蔵も建つように善銭がっさーり」

波並地区扇払い・左義長 地区の繁栄を祈る伝統の扇払い

無病息災や文字の上達などを願う火祭り「左義長」。1月17日には波並地区でこの行事が行われました。波並地区では左義長の前に「扇払い」と呼ばれる行事を行います。白い扇3枚を組み合わせたものを竹に付け、子どもたちが縁起の良い口上を歌いながら家々を回ります。

すべての家を回り終えると港に集まり、正月飾りなどを山積みにした真ん中に大きな竹を立て火を付けます。その竹が海側に倒れば大漁、山側に倒れば豊作と言われており、今年も間に倒れて大漁と豊作になると喜んでいました。

寒ぶりまつり 旬の寒ブリにたくさんの人だかり

能登の寒ブリを存分に味わってもらおうと毎年行われている「寒ぶりまつり」は、1月17日に行われました。会場となった宇出津商店街は新鮮な寒ブリを求めて町内外から約4,000人が訪れ、にぎわいを見せました。この日用意された約60本の寒ブリは、職人たちの手によって次々と解体・即売され、飛ぶように売れていました。

商店街の特設テントではブリ料理や能登弁、特産品なども販売。ステージでは弥栄太鼓やYAMABIKO柳星乱舞隊のよさこいも披露されました。



▲「魚さばき体験」では、子どもたちが職人に教わりながら、イカやフクラギをさばきました



◀寒ブリの解体・即売では、職人が手際よくブリをさばいていました

1月

まちの出来事

人権擁護委員委嘱状伝達式 大切な人権を守っていくために

1月13日、能都庁舎で人権擁護委員委嘱状伝達式が行われました。式では、堂前弘子さん（再任）＝笹川＝と本谷憲市さん＝真脇＝に持木町長から法務大臣の委嘱状が伝達されました。

持木町長は「皆さんに安心を与えるため、お二人の経験を生かした活躍を期待しています」と激励しました。

能登町には現在7人の人権擁護委員がいます。任期は3年間で、今後は人権相談や人権擁護の啓発など積極的な活動を行っていくということです。



堂前さん(写真中央)と本谷さん(左から二人目)

佐智子さんを通訳に、パソコンで説明するベルスさん



ベルスさん・林さん夫妻の特別授業 フランスの歴史と文化に触れる

フランス出身で松波在住のオートマン・ベルスさんと林佐智子さん夫妻が1月19日、小木小学校を訪れて特別授業を行い、5・6年生34人にフランスの歴史や文化、簡単なフランス語を紹介しました。

ベルスさんと佐智子さんは、2001年に留学先のアメリカで知り合い、03年にベルスさんの母国であるフランスで結婚。子どもたちを自然豊かな佐智子さんの古里で育てたいと昨年能登町に移住しました。今回「日本の人にフランスについて興味を持ってもらいたい」と特別授業が実現しました。

弥栄太鼓初打ち奉納 諸願達成の願いを込めた初打ち

町指定文化財、弥栄太鼓の初打ち奉納は、毎年1月7日午前0時に行われます。今年も宇出津八坂神社には約100人が初詣や見物に訪れ、保存会会員による勇壮な太鼓に魅了されました。

弥栄太鼓保存会は昭和47年4月に結成され、今年で38年目を迎えました。現在は会員約20人が所属し、県内外で保存継承活動を続けています。保存会会長の本谷順一さんが「今年一年が良い年になるよう願いを込めて初打ちを奉納します」とあいさつした後、会員らは境内に作られた特設舞台で気迫のこもったバチさばきを披露しました。



たいまつを前に力強く太鼓を打ち鳴らす保存会員

相談しながら慎重にドミノを並べる児童



みらいセンターでドミノ大会 みんなで協力して得た達成感

こどもみらいセンター（宇出津）の「ドミノ大会」が1月6日に行われ、児童35人がドミノ倒しに挑戦しました。この日は町内の保育所などから合わせて約6,500個のドミノを用意。児童らは4つのグループに分かれて、相談しながら慎重にドミノを並べていきました。

失敗を繰り返し、試行錯誤しながら約2時間でドミノを並び終えた児童。最後は倒れていくドミノを祈るように見つめていました。協力しながらドミノを並べ、成功と失敗を感じ、大きな達成感を得ることができたようです。